

公益  
社団法人

# 長井教育会



## 2020年 山形県立長井高等学校 創立100周年

### 100年の想いが紡ぐ未来へのストーリー



スタインウェイ  
ピアノコンサート



陸上競技大会

壮行式



山形県探究型  
学習課題研究発表会



## 内 容

- 1 表紙 100年の想いが紡ぐ未来へのストーリー（長井高等学校）
- 2 理事長あいさつ
- 3 令和元年度事業報告
- 4 長井教育会賞、未来を創る—奨学生の声—
- 5 奨学生の概要
- 6 学校紹介 山形県立長井高等学校
- 7 会員名簿
- 15 お知らせ
- 16 入会のお願い



## 希望は若い人たちに

公益社団法人長井教育会  
理事長 蒲生直樹

今、「長井のまちが面白い。」そう言って外からやって来る若い人たちがいます。

高速交通網から見放され、今は企業城下町としてのかつての賑わいもなく、街中にシャッターが下りたままの店舗や空き家が目立つさびれた田舎まち。長井には、パチンコ店以外に娯楽施設もなければ、家族で買い物を楽しむような大型の商業施設もありません。住んでいる者の多くにとっては、活気の失せたつまらないこのまちが、しかし外から見ると何とも魅力的だと言うのです。

水がいい。空気がいい。食べものもいい。言ってみれば、この地には人間が生きるためになくはならない大切なものが、都会にはない高いクオリティーをもって存在します。そして疲れた現代人の心を癒してくれる豊かな自然があります。穏やかに連なる山々と幾筋もの河川の織り成す四季の移ろいの中、幾世代にも渡り手を入れて来た田畑に囲まれ、肩を寄せ合うように築かれた家々。その町並みの持つ落ち着いた色合いと佇まいのやさしさ。このまちには、人々の営みの醸し出す歴史と文化の香りが漂っています。

プロの商業写真家として活躍する傍ら、西根において、県内外のミュージシャンやパフォーマーが集う「ぼくらの文楽」を立ち上げ、昨年九回目の開催に漕ぎつけたプロデューサーであり、長

井駅前「おもちゃ屋KIMI」の店主でもある船山裕紀さん。仲間とともに、アーティストとして様々な活動を行う中で金井神ほうきや草鞋などの伝統工芸の新たなかたちを模索しつつ、一方でクラフトビールの会社を立ち上げた、東北芸工大専任講師の村上滋郎さん。途絶えていた縄文そばの店を受け継ぐとともに、古代の丘周辺での新たな事業展開を目指すビジネスプランで「長井ビジコン」最優秀賞を得た伊藤誠さんと佐藤拓也さん。そして、この、長井の魅力を発信し続けるUターン組の若者たちに引き寄せられるように、外から長井にやって来た、そしてやって来ようとしている何人もの若者たち。彼らによって、個として、それぞれに点であった活動がつながり、広がり、面となって、今、この地に新たなものが生まれようとしています。

この若者たちが気づかせてくれるのは、このまちが潜在的に持っている豊かな価値であり、このまちに住む私も一人ひとりがこの地を見つめ直し、改めて風土に根ざした地域社会や文化の在り方に思いを巡らすことの必要性です。

希望は若い人たちにあります。長井教育会は、若者支援を目指して結成された組織であります。千三百人余の会員の皆様とともに、若い人たちの活動に熱い声援を送って行きたいものと考えます。